

スイーツブーム年表と共にスイーツの歴史を振り返る

年々移り変わるスイーツブーム。近年はカヌレやドーナツ、芋スイーツなどスイーツの再ブームが起こり、再び大きな脚光を浴びるケースが増えています。

今回は平成初期のスイーツブームから現在までをスイーツブーム年表と共に振り返っていきます。

スイーツブーム年表

1990年頃 スーパーファミコンが大ヒット
スイーツブームが始まる

1990年頃～ ブームの火付け役 **ティラミス** ブーム

1991年頃～ イタリアブームに対抗 **クレームブリュレ** ブーム

1992年頃～ 当時は白色 **第1次 タピオカ** ブーム

1993年頃～ なめらかプリン ブーム ①
不思議食感が癖に **ナタデココ** ブーム

1994年頃～ 簡単で美味しい **パンナコッタ** ブーム

1995年頃～ フランス伝統菓子到来 **第1次 カヌレ** ブーム

1998年頃～ 今後再燃? **クイニーアマン** ブーム

1999年頃～ 食感が絶妙 **エッグタルト** ブーム ②
「生」ブームを呼ぶ **生チョコ** ブーム

Check!
スイーツブームの火付け役!

ティラミスブームの始まりとは?

1980年代後半、日本ではイタリアンが流行し、イタリア飯ブームが起こっていました。その勢いの中で1990年4月に発行された女性誌がティラミスを取り上げて話題となり、ブームの火付け役となったと言われています。その後ティラミスは各地で販売され、驚異的なスピードで全国へとブームが広がりました。



海外の影響で今もなお広がり続けるバリエーションの幅

Check! ① **プリン**

現在では海外から到来したプリンも注目を浴びています。写真のベトナム発祥のプリン。現在は濃厚プリンで、アイスコーヒーやクラッシュアイスをかけて食べるのが特徴です。最近ではブラジルプリン(プジン)も注目を浴びています。

Check! ② **エッグタルト**

過去に流行したパイ生地のポルトガル式だけでなく、日本からアクセスの良いクッキー生地の香港式も存在する。今後香港式が注目を浴びる可能性も考えられます。

Check! ③④ **マカロン/トウカンロン**

2004年頃から人気継続中のマカロンですが、2020年頃からは韓国発祥のトウカンロンも注目を集めています。

2000年頃 シドニー五輪開催
パティシエブーム到来

パティシエのメディア露出が増え、憧れの仕事としてより人気を集めるようになりました。

2003年頃～ **第4次 芋スイーツ** ブーム

現在

2004年頃～ 見た目も大人気 **マカロン** ブーム ③

2006年頃 イナパウアー・パンカチ玉子が流行語に
スイーツの日常化

コンビニスイーツが店頭へ増え、消費者の手に入りやすくなり、スイーツの日常化が進みました。

2006年頃～ 斬新! **ひと巻きロールケーキ** ブーム
なめらか食感が癖に **生キャラメル** ブーム

2008年頃～ タピオカティー登場 **第2次 タピオカ** ブーム

2009年頃 エコカー登場
コンビニスイーツ競争激化

2011年頃～ 朝から大行列 **パンケーキ** ブーム

2013年頃～ イメージを覆す **高級ポップコーン** ブーム

2015年頃～ 台湾ブランドが火付け役 **かき氷** ブーム

2017年頃 歌手・空室奈美恵引退
インスタ映えスイーツの流行

SNSにスイーツを載せる事が日常となり、写真映えを意識したスイーツが現在にかけて増え続けています。

2018年頃～ とろり濃厚 **バスクチーズケーキ** ブーム
インスタ投稿続出 **第3次 タピオカ** ブーム

2020年頃～ ほめてり形状が可愛い **トウカンロン** ブーム ④

2021年頃～ シンプルだが映える **マリトッツォ** ブーム

2022年頃～ 従来のドーナツが進化 **生ドーナツ** ブーム ⑤
~現在 **第2次 カヌレ** ブーム ⑥

芋スイーツブームが起きた要因とは?

- 第1次ブーム 1804年頃～1868年頃 砂糖の代替品として大ブームに
- 第2次ブーム 明治時代～1923年頃 白米の代替品として需要大
- 第3次ブーム 1951年頃～1970年頃 石焼き芋登場でブーム突入



そして近年、再燃している芋スイーツブーム。その大きな要因として以下の2つがあげられます。

- ① 焼き芋オーブンの誕生
- ② 安納芋など新品種の誕生による食感の変化

焼き芋オーブンの誕生により手軽にホクホクの焼き芋が食べられるようになった事が助走となり、食感の変化をもたらす安納芋などの新品種の登場によりブームが爆発したと考えられます。栄養素の高さも注目され、健康志向の今の時代にマッチしている点も一つの要因だと考えられます。

ロールケーキがコンビニスイーツ競争激化の要因に!



2006年頃、生クリームを真ん中にひと巻きした「ひと巻きロールケーキ」がブームになりました。2009年にコンビニより販売されたロールケーキがこれにより火を付け、コンビニスイーツの競争激化にも繋がっていきました。

今後も注目の進化系スイーツ

Check! ⑤ **生ドーナツ**

Check! ⑥ **進化系カヌレ**

近年は〇〇専門店といった一種類のお菓子に絞って販売を行う専門店が増えています。それによりアレンジの幅が広がり「進化系スイーツ」として店頭で置かれ脚光を浴びるお菓子が増えたと考えられます。カヌレの再ブームの様に新しくブームになる商品だけでなく、過去にブームになったお菓子も目が離せません。

<参考サイト> ■年代流行 <https://nendai-ryuukou.com/article/121.html> ■スイーツ番長 <https://sweets-banchou.com/?p=626>
※ブームの年号には様々な情報が回っており、他の情報と多少のズレが生じている場合がございます。

東光WEB
カタログ

my.ebook5.net/PAOTOKO

@pao.toko

www.instagram.com/pao.toko

LINE公式
アカウント

@388kfzyh

和洋スイーツパッケージの総合メーカー
PAO TOKO 株式会社 東光
since 1961
<https://www.package.co.jp/>